



千葉動力車

組織絶滅粉碎、闘う方針確立へ
第17回定期大会、10月7~8日



全組合員の議論をもちよう!

第十七回大会を新たな
飛躍の場へ!

今定期大会の重大な位置
について、二回にわたって
提起してきた。

情勢は、戦争と大激動の
到来の中で、日本支配階級
は必死でその危機からの脱
出を、アジア・太平洋の権
益獲得に乗り出そうとして
おり、中東情勢を契機にし
て積極的に自衛隊の海外派
兵まで策動するにいたって
いる。

秋季反天皇、自衛隊派兵
阻止の闘いは、決定的であ
り、それらをやりきりなが
ら、九〇年代に勝利できる

JR総連革マル解体の強化へ!

他の企業に例を見ない異
常な労務支配を続けている
JR東日本をかるうじて支
えているものこそ、JR総
連革マルの屈服と協力があ
ることは明白である。JR
東の最大の矛盾と弱点もそ
こにある。

ところで、JR総連は、
組織の内部からさえ不満が
噴出し、連合内でも完全に
孤立を深め、起死回生を狙
って画策した「国際鉄道安

体制の構築と交流・共闘の
強化をなんとしてもかちと
らなければならぬ。こう
した観点から、今大会で獲
得すべき第五の課題として、
JR総連革マル解体、安全
をないがしろにするJR体
制打破、反合・運転保安確
立の闘いの再確立に進むこ
とである。

又、JR内の闘いを強め
ながら、共闘の拡大のため
に、「全国交流センター」
の発展のためにたたかうこ
とである。

全会議」もITF(国際運
輸労連)から一蹴されてし
まったこと等、ますます危
機を深めているのが現状で
ある。

首切りを要求し、自民党
を公然と支持し、全ての労
働者を敵にまわしたJR総
連革マル解体のチャンスが
到来していることをしっか
りとかみ、組織拡大と結
合し、攻勢的、全面的にた
たかいを強化していくこと
である。

反合・運転保安闘争の再確立へ



JR移行後四年目を迎え、
劣悪な労働条件と露骨な組
織差別、強権的労務支配の
中で、運転保安は危機にひ
んしている。しかも、それ
に加えて、「株式上場」を
理由にして又々、合理化を
強行しようとしている。「
JR東六万人体制」を断じ

て許さず、反合・運転保安
確立の闘いの強化・再確立
をめざし全力を投入しよう。
そのためにも、日常的職場
抵抗闘争を何んとしても強
化しなければならぬ。
大会での実践的で真剣な
討論をまき起こそう。

「交流センター」の発展を!

連合が結成され一年を経
過したが、事態は、支配階

級の当初の思惑どおりには
進んでいない。なによりも、

国鉄労働運動を解体できな
かったこと。事業団闘争が
高揚し、大闘争団が結成さ
れ、不屈に闘いつづけてい
る。
そして、教育労働者も、
日の丸・君が代義務化反対
闘争の高揚等、連合を内外
から揺がしている。
労働運動をめぐる新たな
流動化・再編のもとで、動
労千葉の枠をこえて、全国
で闘う無数の仲間たちと
連帯を大きく創造する絶好
の機を迎えているといつて
過言でない。
「交流センター」の発展
のために力を尽くすことが
められているのである。
第十七回大会を、動労
千葉の新たな飛躍の場とし
圧倒的にかちとろうではな
いか。

90年代の勝利へ

第十七回定期大会

十月七日十三時~八日

館山国民休暇村にて

(館山駅よりバス
約8km)

集まろう!議論を持ちよう!